

所属・資格 ドイツ文学科・教授

申請者氏名 板倉 歌

研究課題		ドイツ語とドイツ・ヨーロッパ社会
報告の概要	研究目的 および 研究概要	メディアによる国や社会についての報道から、そこで用いられる表現やテキストを分析することで、社会像を浮き彫りにする。  ドイツ語の新聞テキストデータをもとに、社会的事象の捉え方を分析する。
	研究の 結果	昨年度のサバティカル期間中にドイツで収集したウクライナに関するドイツ語の新聞記事を分析の対象としたが、今年度はその中でも特に、2004年のオレンジ革命期を扱った。ほかの研究者の方々と共同で、データマイニングとディスコース分析の手法を用いて、当時の新聞記事データから浮かび上がるこの時期のウクライナ像について国際会議(GIG)で発表を行った。
	研究の 考察・ 反省	GIGでの発表に先立ち3月にライプニッツ・ドイツ語研究所にて下記発表を行い、2014年のクリミア併合時を扱ったが、GIGでは両発表で扱った時代を比較検討するまでには至らなかったため、引き続きの課題として研究を進めている。 Uta Itakura: Schlüsselwörter zur Krim-Annexion (2014) und ihre diskursanalytischen Interpretationen. 2024.3.27/ Leibniz-Institut für Deutsche Sprache.
研究発表 学会名 発表テーマ 年月日/場所  研究成果物 テーマ 誌名 巻・号 発行年月日 発行所・者	<p>※この欄は、本報告書提出時点で判明している事項についてご記入ください。</p> <p>研究発表 Tagung der Gesellschaft für interkulturelle Germanistik (GIG) Linguistische Textanalyse zur ukrainischen Orangen Revolution (mit Augenmerk auf prominente politische Akteure). 共同発表(Yoshiki Mori, Yehor Duma, Nori Hayashi, Mizuho Miyata, <u>Uta Itakura</u>) 2024.6.28/ Seoul National University</p>	